

## 忘れられない 10 日間



藍住東中学校 浅井 莉央

オーストラリア海外派遣研修は驚きの連続でした。とても充実した日々であったという間の 10 日間でした。

私はもともと英語の聞き取りが苦手で、今回の研修では「英語をすらすらと聞き取れるようになること」を主な目標に、参加しました。私が特に英語力をきたえ上げられたと思うところは、ホストファミリーの方々との会話です。初日は思うように会話ができず、その日の夜ご飯を聞きとることすらできませんでした。翻訳アプリをインストールしてもらい、ジェスチャーを交えるなどして少し会話ができる程度でした。「dessert」などの、聞き取れると思っていた既に習っている単語や文法も聞き取れず、悔しいこともたくさんありました。ですが、徐々に英語に慣れてくると、私の友人の話や、ホストファミリーが飼っているペットの話もできるようになりました。初めてホストファミリーの英語を聞き取れて、会話ができるときは言葉に表せないほど嬉しかったです。

ホストファミリーの方々とはたくさんの思い出ができました。放課後や休日にはボウリングやショッピングセンター、動物園など、ほぼ毎日いろいろなところに連れて行ってくれました。英語が聞き取れずに聞き返してしまっても、ゆっくり分かるまで言ってくれました。本当の家族のように接してくれたので、お別れしたときはとても寂しかったです。



現地の学校では、午前中はリチャード先生というとても元気な先生に英語を教えてもらいました。日本の学校の授業では習っていない単語や文法が当たり前のように出てくるテキストを使ったので、とても難しかったです。しかし、授業の途中でミニゲームをしたり、お菓子を食べたりしたので、飽きることはありませんでした。午後からの授業見学では、生徒一人ひとりがパソコンを使って授業を受けたり、一つの授業に必ず先生が複数人いたりとおーストラリアと日本での授業スタイルの違いがあることを学びました。

オーストラリアではたくさん驚いたことがありますが、一番驚いたのは、「Free fruit for kids」という張り紙と共にかごに入ったフルーツがスーパーマーケットにおいてあることでした。後でこの制度について調べてみたら、保護者が買い物をしている間に、同行の子供達が自由に食べてもいいフルーツを置いてある、というサービスでした。日本では見たことがない取り組みだったので、とても驚きました。

オーストラリアでは、嬉しかったこと、楽しかったこと、悔しかったこと、難しかったこと、様々なことがありました。このときの気持ちを忘れずに、将来に活かしていきたいです。

